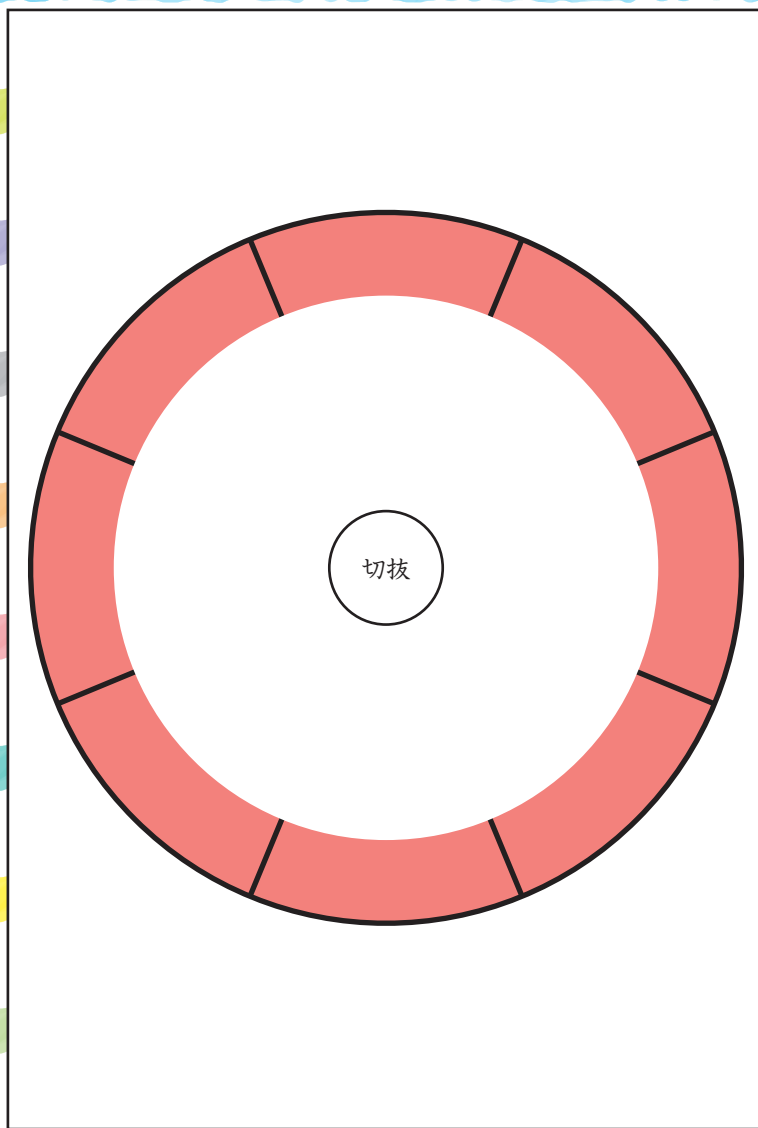


ちょびっと体験
“組みひも”に
チャレンジ

近年、人気の映画に登場し身近な存在になった“組みひも”は、伝統的な手工芸品です。古くからさまざまな場面で“ひも”として使われてきた“組みひも”づくりの基本的な技法を“ちょびっと”体験してみましょう。



※はがきサイズの厚紙に印刷するか貼り付けましょう

楽しみ方

- ①用紙をはがきサイズの厚紙に貼り、太線に沿って直径9cmほどの円形の台紙を切り出す。
- ②台紙の円周8か所（一線で印をつけた部分）に、ハサミなどで切り込みを入れる。
- ③台紙の中心から小さな円形を切り抜き、小穴を空ける。
- ④作りたい組みひもの長さの2倍程度の糸を7本用意し、全ての糸をまとめて結んでおく。
※やや太めの糸で体験しましょう。
約1mくらいの長さからはじめましょう。
- ⑤糸の結びめを台紙中央の小穴に上から通す。
※7本の糸は表面に出ている状態。
続いて、糸を1本ずつ切り込みにかける。
※7か所にかける。
切り込みのうち1か所は糸をかけない。
- ⑥組みはじめる。
糸をかけていない切り込みのすぐ左となりから数えて3本目の糸をはずし、糸をかけていない右側の切り込みに反時計回りに移してかける。
この作業を繰り返す。
※糸をかけていない切り込みの左となりから3本目の糸 → 右側の空いている切り込みに移す、の繰り返し
- ⑦組みおわったら、組んだ糸がゆるまないように根元をしっかりと持ったまますべての糸をはずし、糸をまとめて結べば、出来上がり。